

日独省間会議

2023年11月8日～9日、ベルリン開催

議事録

2023年11月9日作成

I. 参加者

1. 日本側

文部科学省(MEXT)

- 中野理美、総合教育政策局国際教育課長
- 角屋理香、総合教育政策局国際教育課国際理解教育専門官

在ドイツ日本国大使館

- 大橋美帆子、教育・文化芸術・スポーツ担当一等書記官

独立行政法人国立青少年教育振興機構(NIYE)

- 古川和、理事長

2. ドイツ側

ドイツ連邦家庭高齢者女性青少年省(BMFSFJ)

- ウーヴェ・フィンケ＝ティンペ、欧州国際青少年政策課課長
- ジャニーン・ユウングニッケル、欧州国際青少年政策課庶務

ドイツ連邦共和国国際ユースワーク専門機関(IJAB)

- クラウディア・ミアツォフスキ、国際青少年政策協力事業担当専門職

ベルリン日独センター(JDZB)

- ユリア・ミュンヒ、事務総長

II. 議題

1. 日本およびドイツにおける青少年政策の現状紹介

日本側およびドイツ側の参加者より、各々の国の青少年政策および教育分野におけるこれまでの進展、現在の状況および優先課題が紹介された。

2. 2023年(度)事業の報告および評価

日本側およびドイツ側の参加者より、2023年(度)の日独交流事業に関する報告があった。事業のひとつの青少年指導者セミナーについてはドイツ連邦共和国国際ユースワーク専門機関(IJAB)およびベルリン日独センター(JDZB)が作成した書面によるエバリュエーション(評価書)が日本語版、ドイツ語版で提出された。

3. 2024年(度)事業に関する打ち合わせ

a. 日独青少年指導者セミナーAグループ

共通テーマ「社会の課題や変化に対応するための青少年を対象とした取り組み」

- A1テーマ「若者を取り巻くメディア環境——課題と解決に向けた取り組み」
- A2テーマ「子どもと若者の貧困——課題と解決に向けた取り組み」

日独両国は数年間継続した異例状況に鑑み、事業サイクル(当初計画2019年～2021年)を2024年(度)まで延長することに合意した。

期間、日程、参加人数

団	期間および日程(移動日を含む)	参加人数
ドイツ団(訪日)	15日間 2024年5月26日(日)～6月9日(日)	A1、A2とも団長含め9名
日本団(訪独)	15日間 2024年10月28日(月)～11月11日(月)	A1、A2とも団長含め9名

b. 日独青少年指導者セミナーBグループ

B1:スポーツ

- 期間および日程:期間は最長15日間(移動日含む)。訪独または訪日の日程は日独の実施団体間で調整する。
- 参加人数:団長を含め最大7名

B2:ユースホステル

2024年(度)は実施しない。

B3:文化

- 実施団体間がひとつのプログラムに合意することを前提に、プログラム期間は最長15日間(移動日を含む)とする。訪独または訪日の日程は実施団体間で調整する。
- 参加人数:団長を含め最大7名

c. 青少年交流事業

日独勤労青年交流

- テーマ: 日本語「若者が活躍する社会」
ドイツ語「変化する労働環境における若者の可能性と責任」
- サブテーマ: 「男女ともに輝く働き方——ワークライフバランスとキャリア形成」
「技能の継承——ものづくりにおける後継者確保」
- 対象者: 18歳以上の勤労青年および職業訓練生（日本団員：35歳まで、ドイツ団員：30歳まで）
- 期間、日程、参加人数

団	期間および日程(移動日を含む)	参加人数
日本団(訪独)	15日間 2024年7月16日(火)～30日(火)	団長含め10名～12名
ドイツ団(訪日)	15日間 2024年11月13日(水)～27日(水)	団長含め11名～15名

日独学生青年リーダー交流(ドイツ語:日独青年ボランティア交流)

- テーマ: 「若者の社会参画」
- 対象者: 特に青少年育成分野をはじめとするボランティア活動に従事する若者（ドイツ団員18歳～26歳、日本団員16歳～26歳）
- 期間、日程、参加人数

団	期間および日程(移動日を含む)	参加人数
ドイツ団(訪日)	15日間 2024年8月28日(水)～9月11日(水)	団長含め10名～11名
日本団(訪独)	15日間 2024年9月16日(月)～30日(月)	団長含め11名～14名

- ドイツ団(訪日)プログラムおよび日本団(訪独)プログラムの具体的な参加者数は2023年末までに決定する。その際、ドイツ団と日本団の参加者数のバランスに配慮する。

d. 2024年(度)の日独省間会議(日程および開催地)

2016年5月開催の日独省間会議の議事録に基づき、同会議は毎年秋に開催されており、開催地は日独隔年交代となっている。また、同会議を青少年指導者セミナーの実施期間に合わせて開催する可能性があるとの日独双方の合意がある。

2023年の日独省間会議は本来ならば日本開催の順であったが、同会議をドイツで開催することが急遽(2023年6月に)合意されたことを受け、つづく2回の省間会議を日本で開催すること

で日独双方が合意した。開催時期は2024年12月第1週および2025年の秋冬を予定している。ドイツからはドイツ連邦家庭高齢者女性青少年省（BMFSFJ）、ドイツ連邦共和国国際ユースワーク専門機関（IJAB）、ベルリン日独センター（JDZB）から最大4名が招待される。

4. 日独青少年指導者セミナー50周年——将来にむけて質を維持し担保する

日本とドイツは青少年分野における50年以上の協力関係を振り返ることができる。数多くのプログラムが両国の青少年指導者の交流および出会いを可能にし、青少年育成分野におけるさらなる発展にむけた新しい示唆が得られ、そこから長期的なパートナーシップが数多く構築された。この協力の成功は関係者全員の信頼に基づく確実な協働と、実施プログラムの質の高さによってのみ得られたものである。プログラムの質の高さは参加者が入念に選考され、プログラム実施前に丁寧なオリエンテーションが提供され、プログラムの計画および参加者サポートの専門性が高いこと、さらにはプログラムの成果が参加者を超えて広く普及されていることに表れている。

日独両国は高い質のプログラムを今後も実施しつづける意向を強調した。